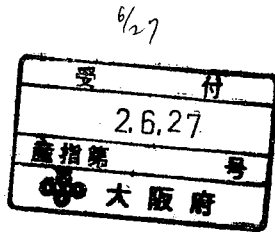


（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月30日

大阪府知事 殿



提出者

住 所大阪府豊中市新千里東町1-5-3

氏 名住友林業(株) 住宅・建築事業本部 大阪北支店

大阪北支店長 市田 俊博

電話番号 06-6836-2221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友林業株式会社 大阪北支店
事業場の所在地	大阪府豊中市新千里東町1-5-3
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	売上高 1,104,094 百万円(2020/3期)
③従業員数	全社5551名 大阪北支店(55名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ■廃プラ・繊維くず・金属くず・石膏ボード・木くず(新築) →中間処理業者に委託し、選別後それぞれ再生業者にて再資源化。 ■ガラス・陶磁器くず・石膏ボード(解体一部)・がれき類 →中間処理業者に委託し、選別後最終処分業者にて埋立処分。 ■木くず・コンクリート(解体) →再生業者に委託し、それぞれ再生業者にて再資源化。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)	
別紙のとおり	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和元年度）実績】													
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
①現状	排出量	18.008 t	0.312 t	207.839 t	6.62 t	20.104 t	33.733 t	21.155 t	70.989 t	371.646 t	6 t	289.575 t	12.807 t
(これまでに実施した取組) (新築系) <ul style="list-style-type: none"> ・部材のプレカット実施 ・現場搬入部材の最小化 (CAD積算数量の精査) ・部材のリユースの実施 (解体系) <ul style="list-style-type: none"> ・分別解体の実施 ・木くずリサイクルルートの構築 													
【目標】現状システムの更なる推進を図る													
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
②計画	排出量	16 t	0.28 t	190 t	6 t	18 t	30 t	19 t	63 t	37 t	5 t	260 t	10 t
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・木質材以外のプレカットの実施 (例: 釘インク、石膏ボード等) ・省梱包化 ・部材のリユース促進 ・現場搬入部材最小化チェックの実施 													

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・新築系では木くず、廃プラスチック、ダンボール (紙くず) 石膏ボード、金属くず、その他の不燃物、その他の可燃物の7分別の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・工務店及び工事店の作業員への教育指導及び安全環境パトロールでの実施状況監視

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状	【前年度(年度)実績】									
	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度(年度)実績】									
	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
①現状	【前年度（ 年度）実績】													
	産業廃棄物の種類													
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類													
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
①現状	【前年度（ 令和 元 年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	かたき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	18.008 t	0.312 t	207.839 t	6.62 t	20.104 t	33.733 t	21.155 t	70.989 t	371.646 t	6 t	289.575 t	12.807 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.616 t	0.2 t	173.567 t	0.3 t	0.116 t	0.005 t	0.765 t	29.2886 t	9.449 t	t	9.195 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	17.392 t	0.112 t	206.193 t	t	19.988 t	33.728 t	20.99 t	42.939 t	362.23 t	6 t	20.27 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	0.616 t	0.2 t	1.646 t	0.300 t	0.116 t	0 t	0.165 t	t	t	t	182.505 t	t	t
(これまでに実施した取組)														
・委託契約による中間処理場（再生含）での廃棄物の適正処理の実施 分別回収と分別解体の実施														

産業廃棄物の種類	【目標】徹底した分別と品目別回収によるリサイクル率の向上											
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物(塵石綿含)
全処理委託量	16 t	0.28 t	190 t	6 t	18 t	30 t	19 t	63 t	371 t	5 t	260 t	10 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	0.2 t	170 t	0.2 t	0.1 t	0.05 t	0.6 t	28 t	9 t	t	9 t	t
再生利用業者への処理委託量	15 t	0.2 t	188 t	t	17 t	18 t	18 t	43 t	362 t	5 t	5.751 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2 t	0.08 t	2 t	0.5 t	1 t	0 t	1 t	0 t	0 t	t	220 t	t
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年2回の中間処理場視察による適正処理の確認 ・木くずの指定・認定チップ工場への搬入によるリサイクル推進 											
※事務処理欄												

別紙

管理体制図

